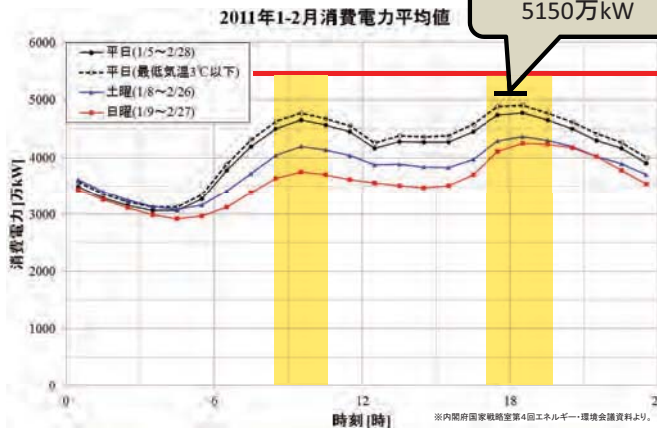


今年の冬の節電

冬の電力需給見通し



今冬の供給力※
5200～5490万kW



冬の電力ピークは、
朝9時前後 と 夕方17時～20時 頃

今年の冬は、
家庭における
節電が大事

⚠ ただし今冬の供給量には、これまで使用していなかったり、機器点検を先延ばしにして稼働した火力発電所による電力が多く含まれているのが現状です。

➡ 発電機器の故障によって電力供給量が急減する可能性があります。

⚠ 今冬は、企業に対する15%電力削減規制が実施されません(緊急時を除く)。

➡ 今夏同様の節電効果が見込めない可能性があります。

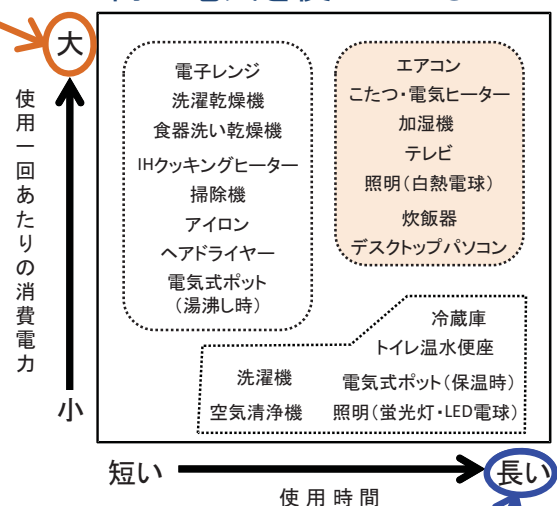


【臨機応変な節電行動】 消費電力の大きい家電から節電！

- ✓ 1回あたりの消費電力量が大きい家電(電子レンジ、食器洗い乾燥機など)の使用を避ける
...電子レンジの消費電力: 約500～1000W
- ✓ 家族が1つの部屋で過ごす
- ✓ エアコンの設定温度を控えめ(20℃)にする
...年間約53kWhの節電*
(設定温度を1℃下げると約40Wの節電)
- ✓ 電気カーペットの設定温度を控えめにする
...年間約186kWhの節電*
(温度を「強」から「中」に下げると約247Wの節電)
- ✓ こたつの設定温度を控えめにする
...年間約49kWhの節電*
(温度を「強」から「中」に下げると約65Wの節電)

※(財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典2011年版」より引用。
※エアコンは、1日9時間で年間150日使用すると仮定。
※電気カーペットおよびこたつは、1日5時間で年間150日使用すると仮定。

何に電気を使っているの？

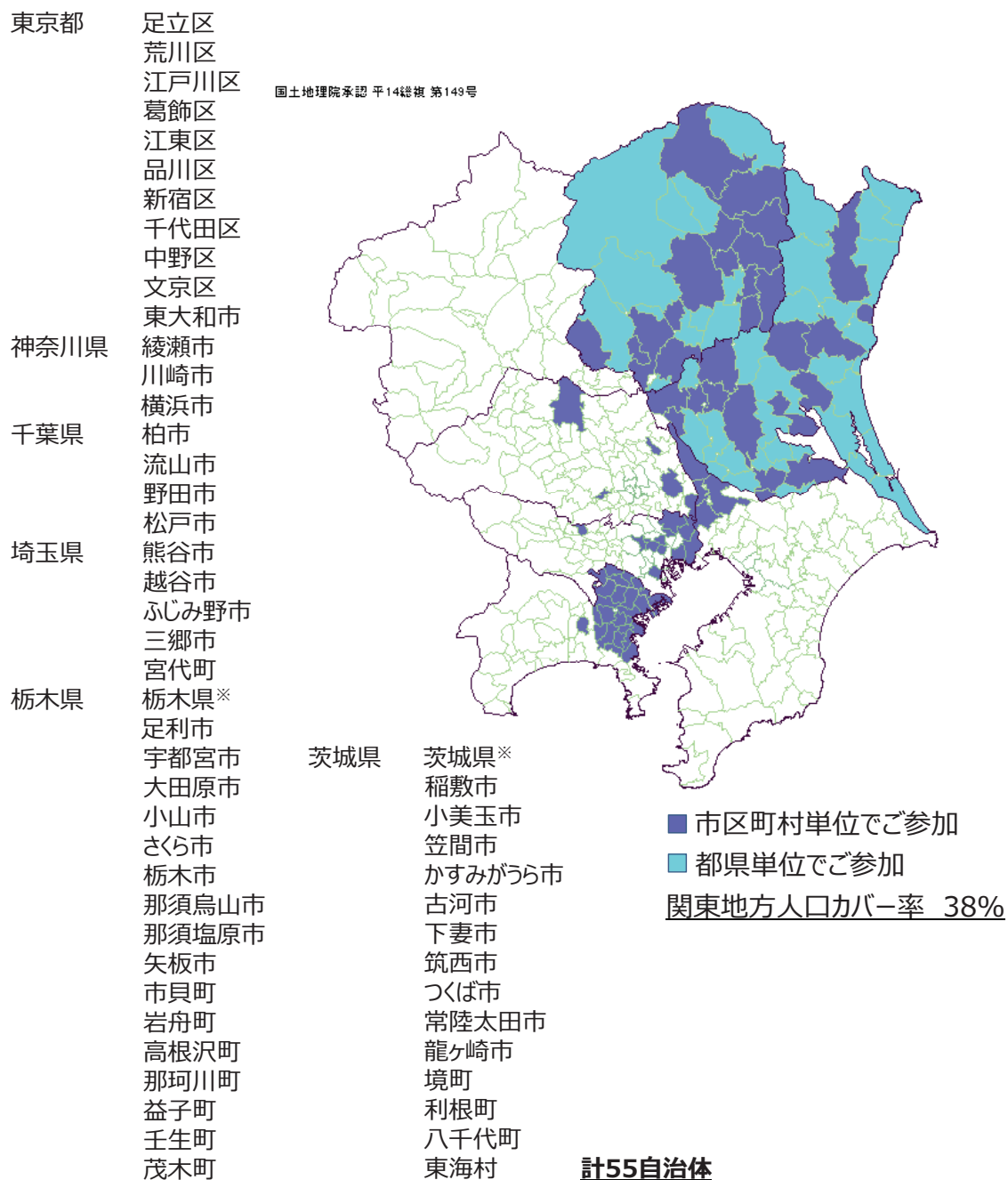


【日頃からの節電】

使用時間が長い家電(冷蔵庫など)は、
「省エネモードに設定」や、
「省エネ機器へ買い替えを検討」

停電予防連絡ネットワークの拡大

JST低炭素社会戦略センター（LCS）は、プラチナ構想ネットワークと協働し、参加地域の拡大を図った結果、東京電力管内の55の自治体にご参加いただきました。



※県としてご参加



科学技術振興機構

LCS



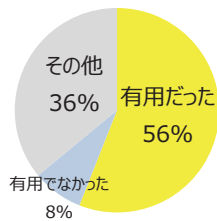
プラチナ構想ネットワーク

停電予防連絡ネットワーク 参加自治体へのアンケート調査結果

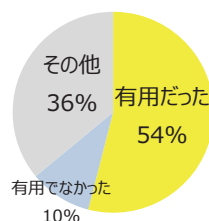
55自治体中、50自治体にご回答いただきました。

●LCSの節電・予報警報の3つのメリットについて。

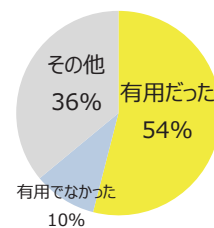
メリットその1：
他機関に比べて配信
時刻が早い



メリットその2：
節電が必要な時間帯
を指定していること

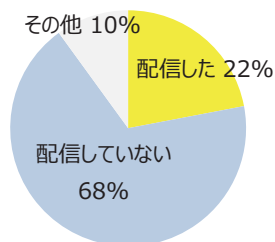


メリットその3：
節電レベルに合わせた節電行動の
メニューを提示していること

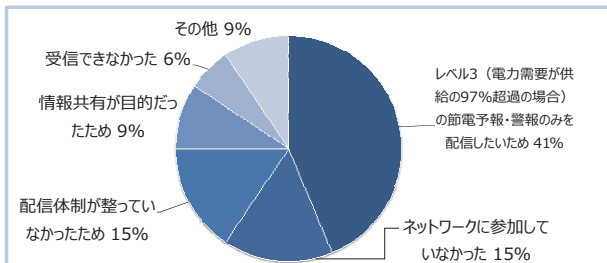


●2011年8月18日の節電予報※の、市民への配信状況について。

※LCSは、前日の2011年8月17日の16:00に、レベル2（電力需要が供給の90%以上の見通し）の節電予報を参加自治体へ配信しました。



配信した11自治体の
配信数：約12万2千件
人口総数に対する割合：4%
世帯数に対する割合：8%
東電管内人口約4300万人に対する割合：0.3%
東電管内世帯約1700万世帯に対する割合：0.7%



●今後の、LCSの節電予報・警報の必要性について。

